

い け だ

Ikeda

議会だより

12月定例会 No.147

平成25年2月1日

発行：岐阜県池田町議会

ぎふ清流国体 ぎふ清流大会 感謝の集い



国体に関わってくださった皆様
ありがとうございました

- | | |
|-----------|-------|
| ★12月定例会 | 2～3p |
| ★質疑あれこれ | 4～5p |
| ★一般質問 | 6～10p |
| ★視察報告 | 11p |
| ★きらり・編集後記 | 12p |

平成24年度一般会計 歳入・歳出予算総額 75 億 707 万円

<歳入・歳出予算に1億3695万8000円を追加>

歳 入

(単位：千円)

科 目	補 正 額
地 方 交 付 金	124,906
分 担 金 及 び 負 担 金	△3,532
国 庫 支 出 金	△3,406
県 支 出 金	18,453
寄 附 金	30
諸 収 入	507
歳 入 合 計	136,958

<歳入の主なもの>

- ・ 県支出金の委託金
衆議院議員総選挙費委託金等
合わせて852万円

歳 出

(単位：千円)

科 目	補 正 額
議 会 費	△3,732
総 務 費	△7,364
民 生 費	18,857
衛 生 費	11,265
農 林 水 産 業 費	19,479
商 工 費	4,210
土 木 費	10,603
消 防 費	114
教 育 費	2,136
公 債 費	51,336
予 備 費	30,054
歳 出 合 計	136,958

<歳出の主なもの>

- ・ 総務費（選挙費・職員手当） 440万円
- ・ 電算委託料 78万4,000円
- ・ 需用費（消耗品費など） 74万3,000円
- ・ 選挙備品購入費 31万5,000円
- ・ 役務費・通信運搬費 85万8,000円
- ・ 選挙費管理者報酬等 55万円
- ・ 投票用紙分類機リース料 88万2,000円

池田町国民健康保険税条例の一部を改正

池田町国民健康保険が被保険者の高齢化や医療費の高度化により、医療給付費が増高いたしております。

平成22年度及び23年度の1人当たりの医療給付費は前年度対比で5%から6%の伸び率を示しており、国民健康保険税の1人当たりの負担額は前年度を下回り、その措置として、国民健康保険基金を取り崩しながら国保財政を運営してまいりました。

このようなことから平成19年度から6年間据え置きしてまいりましたが、財政上非常に厳しいということで、今回池田町国民健康保険税条例の一部を改正するものであり、町民の皆さまの御理解をよろしくお願いします。

平成23年度国民健康保険事業の概況（近隣市町との比較）

保険者名	平均被保険者数 (人)	1人当たり調定額 (円)	1人当たり療養 諸費 費用額(円)	現年度収納率 (%)
池田町	6,315	92,719	298,128	96.96
大垣市	42,609	111,230	313,736	90.60
海津市	11,855	89,853	314,535	94.40
養老町	9,018	87,029	322,509	90.68
垂井町	7,395	97,123	327,993	95.01
関ヶ原町	2,371	85,142	366,112	95.30
神戸町	5,947	93,021	297,638	95.29
輪之内町	2,528	110,843	253,011	91.79
安八町	4,225	96,976	305,396	94.71
揖斐川町	6,916	88,008	311,146	94.79
大野町	6,404	94,459	305,862	93.52
岐南町	7,291	105,101	264,316	90.27
笠松町	6,538	106,665	316,728	91.57



平成25年4月1日から役場は
午後5時15分に閉庁となります

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の施行に伴う池田町固定資産税の特例に関する条例可決

(目的)

第1条 この条例は、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律（平成19年法律第40号。以下「法」という。）に基づき、企業立地及び事業高度化を促進し、産業集積の形成及び活性化を図るため、地方税法（昭和25年法律第226号）第6条第1項の規程による固定資産税の課税の免除について、必要な事項を定めることを目的とする。

この条例は各種の条件が整えば、新たに固定資産税を課することとなった年度以降3年度分に限り、固定資産税の課税をしないことができることとなった。

質疑 あれこれ

12月議会に上程された議案の中から主な
質疑を要約してお知らせします。

総務建設産業委員会

問 池田町職員の勤務時間、

休暇等に関する条例の一部改正（8時間勤務を7時間45分とする）についてフレックスタイムで現状維持出来ないか。

答 今まで改正を見送っていたが、関係機関の指導で改正し、水曜日の窓口

延長は今迄通り実施する。

問 池田町企業立地促進条

例改正（奨励金の交付基準、指定事業者の要件）の周知方法は。

答 広報で知らせる。奨励金5万円は、基準に合えば事業者と従業員に交付する。

問 農業農村整備事業測量

調査計画設計委託料について、計画区域はどこか。
答 町全体が区域であるが、町の計画の農業振興ゾーンが対象。

問 マスターデータクリー

ニング（転出者、死亡者等の利用しなくなった古いデータの消去）委託料についての内容は。

答 コンピュータ内の不要なデータを、現在まで一度も消去していないので、



新たに池田町へ進出した企業（宮地地内）

問 土砂災害ハザードマッ

プ作成委託料の内容は。

答 膨大なデータを抱えたまま業務を行っているが、機器に負担がかかるため行うものであるが、個人情報には様々な付加データがあるので、委託して処理するもの。今後は定期的に処理する。

問 国の土砂災害防止法に

基づき、舟子区から、市橋区までの山麓地域を対象に県が現地踏査し、地元説明するなか特別警戒区域であるレッドゾーンや警戒区域であるイエローゾーンの表示をし、警戒避難計画図を作成するもので、平成25年3月までに作成して配布する。

問 農業集落排水施設の光

熱費について、電気料の設定方法は。

答 町としては節電に努め、
 ＊デマンド契約しているが、
 農業集落排水施設につい
 ては、今後とも安価にな
 るよう検討していく。

〈※〉フレックスタイム制
 労働者自身が一定の定めら
 れた時間帯の中で、始業及

び終業の時刻を決定するこ
 とができる変形労働時間制
 の一つ。

〈※〉デマンド契約
 基本料金をデマンド値（30
 分間における最大使用電
 力）で決定する契約。



大量のデータが保存されているサーバー
 （池田町役場情報政策室）

民生文教委員会

問 国民健康保険税条例の
 改正により1人当たりの
 国保税額と周知方法は。

答 1人当たりの年額調停
 額は約7、300円増額
 で、いろいろな周知方法

を検討する中、効果的な
 手段を取りたい。

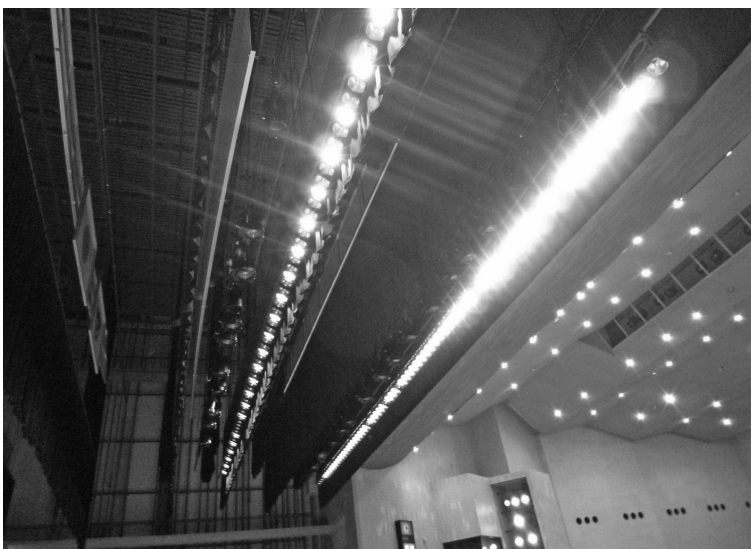
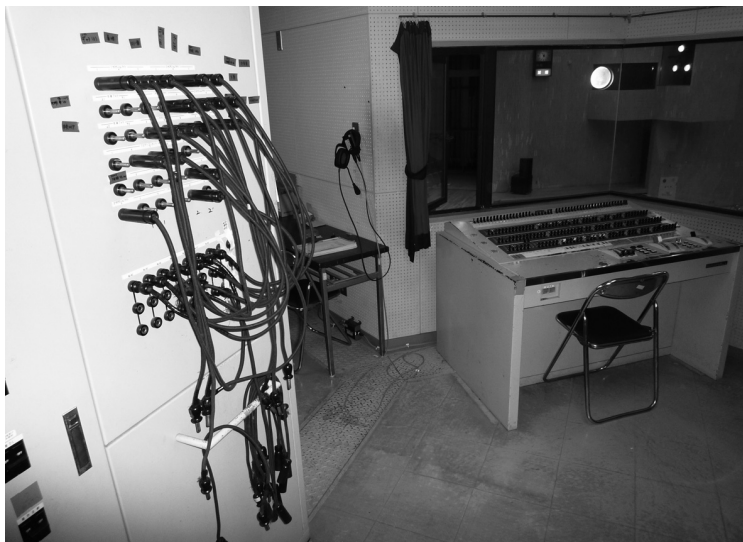
問 中央公民館の照明器具
 が老朽化していることへ
 の対応は。

答 現在まで保守点検や補
 修工事をしながら使用し
 ているが、第5次総合計
 画の中で、全面改修の予

定をしている。

問 八幡小修学旅行の交通
 事故についての見解は。

答 国体開催時期であった
 ことは配慮すべきだった。
 今後は各部署と連携をと
 り考慮する。



老朽化した照明機器（中央公民館）



岩谷真海 議員

町長3期目前期2年間の総括と 後期2年間の施策・方針を問う

町長は3期目立候補に当たり、リーフレットで選挙公約を書かれ当選され2年間の総括と、後期2年間の施策・方針を示されたい。

町長

前期2年間で「病児・病後児保育事業」「障害児タイムケア事業」「30人学級・英語力アップの為の小中一貫教育事業」「池田中学校耐震補強工事」「八幡小学校新築事業」「町内巡回バス事業」「道の駅開駅」「夢源回廊協議会立ち上げ（道の駅を中心とした観光事業）」「太陽光発電システム設置事業」そして、「民泊による清流国体」等々、町民と議会のご協力により80～85%進めてきた。後期2年間は「公共施設の耐震化」「発達障害児・者の増に対してのサポート事業」「公共下水の高度処理事業」等を進めていく。

新教育長就任に当たつての抱負を問う。

教育長

何より学校教育の質の向上、開かれた学校をめざす。また、

町民の為の生涯教育の充実を進めていきたい。

池田山の安全性について問う

池田山を観光、スポーツの拠点として進めているが、その反面、交通事故、事件が多発している。その対応を問う。

町長

この2年間で、交通事故が人身、物損を含め計28件。事件が12件（火災は0件）発生している。

不慮の事故、事件に遭遇した場合の連絡方法も考え対応しているが難しい問題もある。携帯電話事業者と相談し、検討しながら進めていく。取りあえず、安全の為の看板設置をする。



冬期は通行止の池田山入口付近（片山地内）

18才以下医療費無料化の実現を！

各種公共料金、税金

等が上がって行く中、子育て中の若い世代の負担が増加している。是非共、高校卒業までの医療費無料化の実現をお願いしたい。

町長

医療費無料化は順次拡大し中学生まで進めて来ている。高校生までとなると約2千万円程かかるが、消費税等の動向を見ながら平成26年度より実施したい。



牧村範康 議員

持続可能な行政運営 の推進について

～組織の見直しと人材育成を～

現在、職員提案制度（ボトムアップシステム）は機能しているのか。高度化する住民ニーズに対応すべく、各課の垣根を越えたワーキンググループを機能させ、職員さんの高いポテンシャルを有効利用することが重要だ。

副町長が誕生した現在、部長制度を課長制度にスリム化し、行政の底上げしてサービスの向上を目指すべき。

町長

現在ワーキンググループはないが、国体では多くの職員の提案をいただき全職員で取り組んできた。また、行革のプロジェクトは町単独になつてから進めてきたが、平成23年度からプロジェクトチームを作り各課の横断的な議論を進めている。毎年4月には職員の年間目標を設定させ評価をしている。現在は部長兼課長制である。若い職員の夢を壊さないシステムを考えたい。

新教育長の教育方針について

～さらなる地域愛の醸成を～

公教育の周辺を総合的に鑑みた上で、町の学校教育における望ましい教師像、根っこにあるべき職業観をどのように捉え、現状認識と対策をどのように講じるのか。

教育長

第一に使命感と教育的愛情であり、面倒見のいい先生であるべきと考える。教師には専門的知識と実践的指導力が必要で、そのために研修を積極的に支援していく。また、子供たちへの共感的理解と合

多方面で憲法改正が叫ばれる中、自虐的な近現代史だけではなく、教科書に記述されていない歴史教育も必要だ。初等中等教育ではイデオロギー形成に与える影響が大きいうえ「歴史の捉え方」として偏つてはいけない。現場での対応を望むが。

わけて保護者へのカウンセリングマインドを兼ね備えていくことも大切なことと考える。

教育長

学習指導要領を踏まえて、検定済みの教科書により授業を展開している。つまり、教師自身の歴史観・価値観を注入しないことは前提ではある。その中で地域愛や誇りを醸成していると考えている。

地域医療の充実化について

～池野駅北医療モールコンセプトは～

町長

10月開業予定の内科、数年後の耳鼻科に加えて、もう一院「皮膚科」を検討できないか。駅と一体化した充実した整備のため、駅からの歩道のアーケード化、さらに防犯上、照明やミラーを充実すべきだが。

健康医療ゾーンというコンセプトで健康を保ち癒しをとっていただく地域にしていきたい。もう一院は南側の西の部分（ ）に検討していきたい。歩道や照明の整備は、景観的なことや先生の要望も含める中で検討していく。



池野駅北口の「健康医療ゾーン」計画図



渡辺幸一 議員

事業仕分けの導入について

事業について、予算編成前に住民、有識者の意見を聞くことにより仕分けに耐えられる事業の必要性、費用対効果を示すよい面があると思う。まちづくり条例も4月から施行し、町民参画の意味でも事業仕分けの導入の考えは。

町長

当然の間は事業仕分けは見送りながら、新規事業、主要事業等については十分公開をし、皆様の意見を聞く中でやっていきたい。

ただ、イベント事業については見直す部分があるだろうが、限られた財源の



ミニパーク設置事業（上田地内）

中で十分検討していく。補助金については、今のニーズに合った団体の事業は認めていく。切るばかりではなく新たな挑戦をし、その団体が活性化するのであれば増やしていく。

県との人事交流について

現在、揖斐郡下における人事交流の状況は、揖斐川町、大野町で平成20年から現在まで行われている。当町においても今後県とのより緊密な連携体制を図るための事案が多くなると思われる。

例えば、西美濃夢幻回廊事業、治山治水、都市計画道路などの事業も県との連携が不可欠と思う。又、国からの交付金についても一括交付金で県に交付され、県から市町村に交付されるシステムになっている現状を考えた場合、県との人事交流を実施すべきではないか。

町長

新しい制度もでき、いろんな面での県の持っている基金を有効に活用するためには、

常日ごろから交流があることも大事であると思う。

そういった状況の中、来年の4月に相互交流といったことで県にお願いをし申請している。町からの派遣職員も、期限は概ね2年になっているので、戻った時には経験を生かし、相当の職責についてもらう形で今後進めていきたい。

町村名	派遣先	派遣年度
揖斐川町	総務部次長	20～21
	産業建設部次長	20～21
	産業建設部長	22～23
	総務部長	22～23
	産業建設部次長	24～
	総務部次長	24～
大野町	産業建設部長	20～21
	総務部企画財政課長	22～23
	総務部広報係長	22～23
	副町長	24～

揖斐郡下における人事交流の状況



竹中芳弘 議員

国産材利用による公共建築物の木造化推進を

耐震・耐火性能で3階建木造校舎可能に！

町長 日本の山々は植林奨励によって毎年8000万㎡の木材が増えつつけている、にもかかわらず国産材の供給量は2010年には7000万㎡と30%減少し、国産材の自給率は18%まで減少した。政府は3年前に森林、林業再生プランを策定、国産材の木材自給率を50%に目標設定し、国産材利用活用の法律を2010年に作り公共建築物にも広く活用を促しているが考えはどうか。

町長 従来の切り捨て間伐からチップ材や県産材としての間伐材の利用に変わってきている。八幡小学校の内装材には面積の60%、約3000㎡超の面積に木材が使われる。温知小、養基小、温知保育園、道の駅池田温泉においても県産材利用で補助金をもらってやってきた。

第5次総合計画で町立片山保育園の改築（建替）計画があるが、園児が学びやすく、自然の木の香り、やわらかな感触の木造建築が最適だと思う。自然とマッチした園舎の建設を望むがどうか。

町長 平成28年から29年を考えているが、周辺保育園の事も考えて十分検討する必要がある。



老朽化が目だつ片山保育園・園舎

**倒壊の危険がある
空き家対策について**

**町民安全の為
「条例の制定」を**

町には30年以前に建築された建物「旧建築基準法」の建物が3350戸以上、約50%半分以上を占める。所有者が家を離れて空き家となっている建物もあり、地震や台風などの自然災害で倒壊して、周辺住宅に被害を与える事も考えられる。

無人化している建物には危険な箇所や状態を知らせる指導システムを作っておく必要があると思うがどうか。

町長 町では現在4件の対象建物があり管理指導している。景観条例の作成を検討していて、条例の中に景観の面から検討していく。

町施設「霞間ヶ溪さくら会館」の運営について

**施設をPRして
もっと活用を！**



ここから池田の眺めは最高
（霞間ヶ溪さくら会館）

霞間ヶ溪公園にあつて「寺岡山荘」と呼ばれた建物で、昭和42年に東神電工（株）の社員研修用に建設された建物です。平成12年に町に寄贈されて学習の場や、研修の場として宿泊もできます。昨年は590人の利用者がありその内、宿泊研修者は99人でした。建設後45年が経過して建築物の耐力度が気になります。町長は建物の耐震診断の考えと今後の運営についてどの様にお考えですか。

町長 耐震診断の費用80万円、とり壊し費用約600万円などを考え今後二年から三年かけて判断する。

眺めがすばらしい。利用者をもっと増やして、料金も見直す中で存続させたいと思うがどうか。

町長 町の経営も十分考え、東神電工さんとも相談して決めた。

池田町においてのスポーツ、文化、芸術などの今後の計画について



臼井幹夫 議員

昨年10月に県民総参加で開催された、岐阜清流国体及び清流大会は大成功。今後の計画や考えをお聞きたい。

町長

池田町始まって以来の大きなイベントであり、清流国体では、皆さん方には本当に御迷惑と労力、時間をかけていただき本当にありがとうございました、改めて厚く御礼を申し上げます。

これは単なるスポーツの祭典ではなく、これから、こうした地域の力や地域のきずなを一層深める事ができた国体でした。これを何とかして継続できないかと思っています。



人・人・人のぎふ清流国体、おもてなしコーナー（総合体育館）

現在、1周年ということでの記念事業を計画し、バドミントン協会の方に意向はすでに伝えてあり常任理事会で正式に協議をしていただける予定となっている。

とりあえず日本リーグを池田町で開催したい方向で進めていきたい。

主な岐阜清流国体費用

運営費	
競技運営委託	5,600万円
会場設備	
リハーサル大会	800万円
民泊運営費等	1,900万円
資材関係・看板等	1,500万円
広告宣伝費	600万円
視察費	200万円
計	1億4,130万円
補助金	4,200万円

施設工事費	
体育館	
遮熱塗装	2,000万円
防水工事	2,500万円
駐車場関係舗装	3,000万円
照明	1,800万円
多目的広場トイレ	500万円
西側多目室増築	4,500万円
計	2億1,000万円
補助金	8,700万円
計	3億5,100万円

この波及効果は全体で費用の1.5倍

池田町議会議員研修・内覧会

平成24年12月26日

宮地に完成した（株）UNIGEN（インフルエンザワクチンなどの原薬を製造）岐阜工場とアピ（株）（インフルエンザワクチンなどを製品化）する工場の視察研修を行いました。

UNIGENとAPIの共同事業＝健康社会への貢献

最先端のバイオ技術でやさしいワクチンを世界へ

UMN UMN Pharma Group
UNIGEN



薬を造って豊かな健康社会を創る
アピ株式会社

原薬を製造します

製品化（製剤）します

インフルエンザなどの
感染症を予防するワクチン



安心
安全

健やかな社会



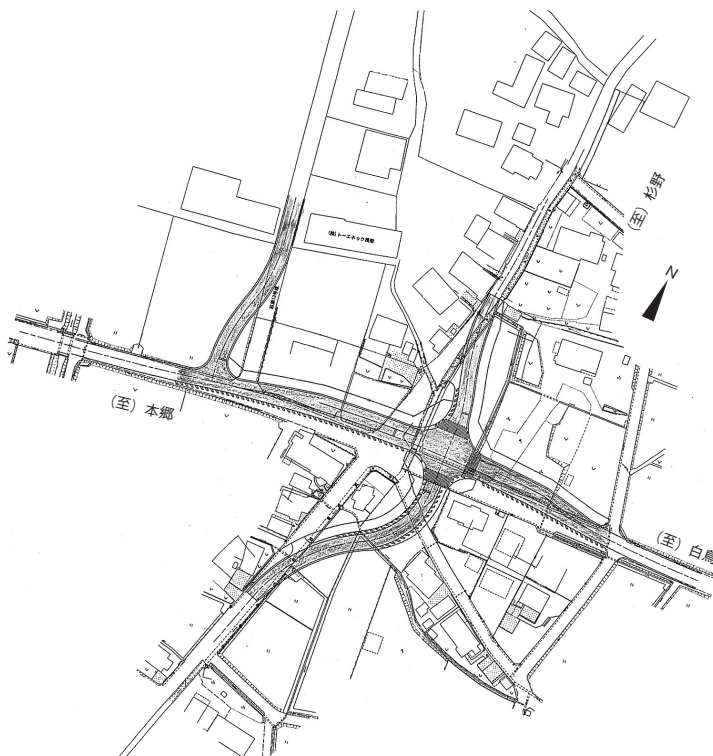
研修の様子

世界最先端の技術で早く安全に大量に作るのがキャッチフレーズ。 2015年に製品出荷予定。

上田地内交差点改良工事 《信号機設置》

交通事故多発のため、五叉路から四叉路にして見通しの良い交差点に改良し信号機を設置する。

空き地は公園などに利用する。
(平成25年度着工予定)





今回は、健康な体づくりに貢献しておられ、昨年30周年記念パーティーを開催されました下東野在住の河村えりこさん(右の写真 前列左)へのインタビューです。



このような活動を始めようとしたきっかけは？

今から30年前体育指導者だった、松岡雅子さんと原靖子さんの働きかけにより池田町にいつでも、どこでも、だれでも出来る新しいスポーツをとのスローガンの元、家庭婦人が明るく元気に体力づくりをと県の指導者を招き、池田町多目的ホールに大勢の婦人が集まりました。月2回のリズム体操に、それまでまったく運動に縁が無かった私も、楽しく夢中になりました。その後池田町で指導者講習会が開かれ、私もさっそく参加をしました。6人の主婦の指導者が池田町に誕生しました。

各公民館の行事、ゲートボールの準備運動など池田町中央公民館を中心に活動を続けました。その後私は平成5年ステップダンスを設立し今にいたりしました。子供の頃から病弱だった私が長きにわたりステップダンスを活動させて頂けたのも、初めて多目的ホールで味わった楽しさ、うれしさを多くの皆様といっしょに味わいたいと願った次第です。



現在の活動(教室)状況は？

池田町各公民館行事、文化祭、新年会、校下民運動会、ラジオ体操大会、池田町レクリエーション大会のお手伝い、池田町を中心に笑顔をつやさず健康

体操やステップダンスの楽しさを広めて行きたいと思います。又教室ではイスや帽子、ステッキなどを使い老人介護施設(清流の里)などへのボランティアにも力をいれて行きたいと思います。



30周年を期に今後の活動への想いは？

今思うに、30年もの長き間池田町の皆様に活動の場を与えていただき本当に心より感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも初心を忘れず、クラブ員や公民館の皆様、地区の方々に感謝の気持ちを持ち、偉い先生より可愛がられる先生を目標にとの亡き父の言葉を胸に、重ねた年齢に合った、私らしい笑顔の絶えない、活動をしていきたいと思っています。

(渡辺幸一)



編集後記

昨年はぎふ清流国体バドミントン大会が当町で開催され、町民皆様のご協力により民泊で盛り上がり地域の絆ができた大会であったと思います。また、年末には衆議院選挙が行われ政権交代がありました。

今回の政権の最重要課題は「景気の回復」であります。

地方が疲弊する中、現政権にはスピード感を持って実行していただけることを期待したいものです。池田町におきまして、これをチャンスと捉え活力ある、そして安全、安心な町づくりを町民総参加で作ります。

われわれ編集委員も、議会の動きを正しく伝えるよう編集していきますので本年もよろしく御願いいたします。

(渡辺幸一)

お詫び

11月1日発行しました「議会だより No.146」の最終頁「きらり」にて紹介しました上野重実さんの住所について誤記がありました。「柏ヶ原在住」を「沓井在住」と訂正のうえ、お詫び申し上げます。